

小学校社会科学習指導案

尾道市立栗原小学校

教諭 横松 和義

- 1 学 年 第3学年
- 2 単 元 名 尾道市の様子
- 3 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領の社会第3学年及び第4学年の内容（１）「自分たちの住んでいる身近な地域や市（区、町、村）について、次のことを観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする」を受けて設定した。ここでは、市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを観察したり資料を活用して調べたりすることにより、市の様子は場所によって違いがあることを考えるようにすることをねらいとしている。

小学校学習指導要領社会（平成20年）の指導計画の作成と内容の取扱いには、「個々の児童に社会的な見方や考え方が養われるようにすること。」と示されている。本単元の中心的な社会的な見方や考え方は、「市の様子は、地形的条件や社会的条件により、場所によって違いがある。」という概念的知識である。この知識を獲得させるには、市の特色ある場所を取り上げて調べ、導き出した知識を関連付けたり、総合したりして考えさせることが重要となる。

また、本単元では、観察したり資料を活用して調べたりする学習を通して、市の様子について理解することから、児童が日々生活している市に対する誇りや愛情をもたせることのできる単元である。

(2) 児童観

本学級の児童は、既習の単元「学校のまわり」の学習において、明確な調べる観点を踏まえ、意欲的に学校の周りの様子を調べた。その結果、学校の周りにある交通や建物などの様子をとらえ、学校の周りには様々な場所があり、場所によって違いがあることを理解することができた。しかし、交通と建物の関係など、事象相互の関連についての把握は、十分とはいえない。

(3) 指導観

指導にあたっては、次のことに留意していく。

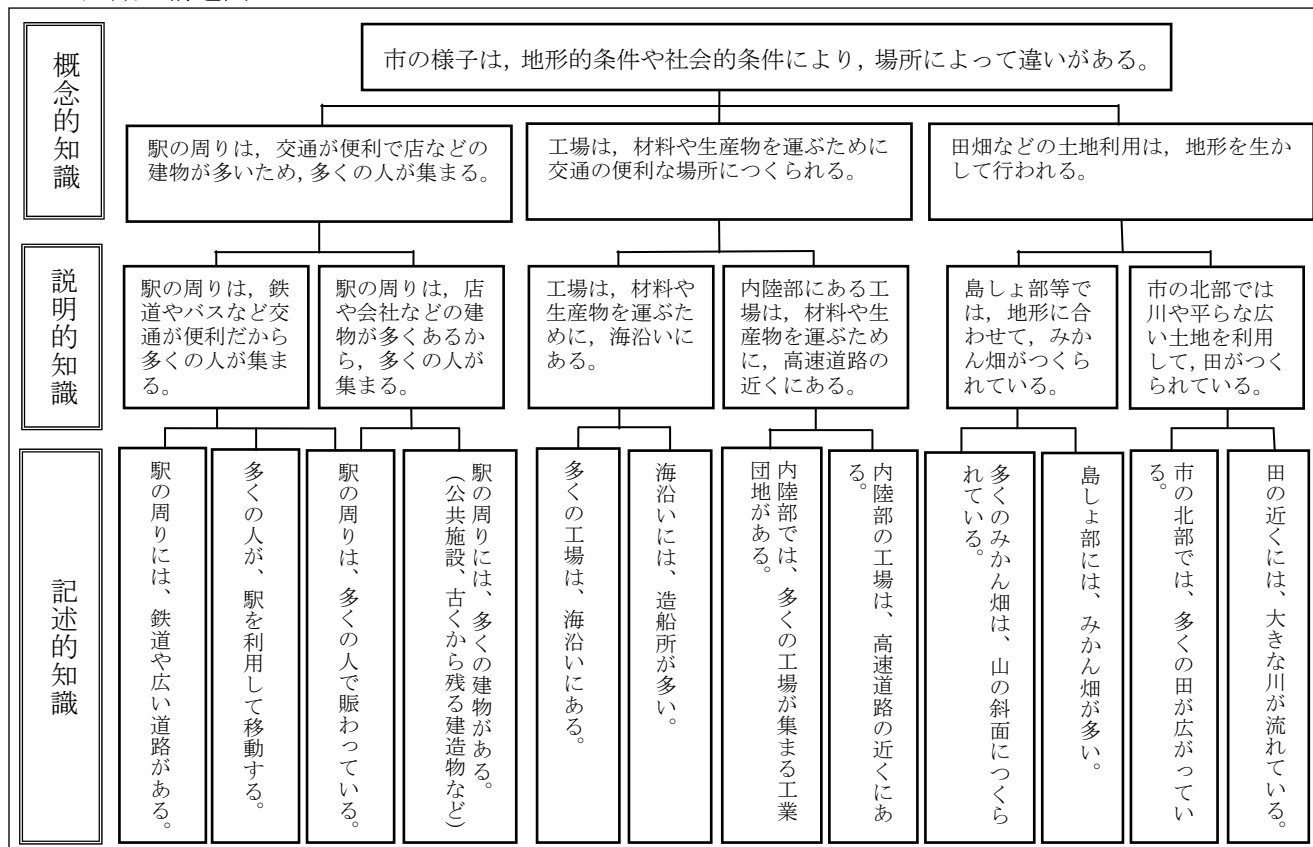
まず、市の特色ある場所について調べ、土地利用や交通などの様子を書き出して整理させ、記述的知識の明確化を図る。次に、これらの記述的知識を踏まえた「なぜ」という問いのもと、関係図にまとめる学習を通して、記述的知識相互の関連について考えさせていく。最後に、市の特色ある場所について獲得した知識を総合して考えさせることで、本単元の中心的な概念的知識を獲得させていく。

4 単元の目標

○市の特色ある場所について、地図や写真等の資料から、地形や土地利用、交通、主な公共施設や古くから残る建造物等の様子を調べ、白地図にまとめることを通して、市の地理的環境について理解することができる。

○地図や資料から読み取った情報を関係付けて考え、「市の様子は、地形的条件や社会的条件により、場所によって違いがある。」という本単元の中心的な概念的知識をとらえることができる。

5 知識の構造図



6 単元の評価規準

ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な 思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用の 技能	エ 社会的事象についての 知識・理解
1 市には様々な地域があることに関心をもち、その様子を意欲的に調べている。 2 市の様子の特色やよさを考えようとしている。	1 市の様子について、学習課題や予想、学習計画を考え、表現している。 2 土地利用の様子を地形的条件や社会的条件と関連付けて考え、分かりやすく説明している。 3 土地利用の様子を相互に比較して、市の様子は場所によって違いがあることについて考え、分かりやすく説明している。	1 地図や写真等の資料を活用して、市の様子について必要な情報を読み取っている。 2 調べたことを地図記号等を用いて白地図にまとめている。	1 特色ある地形や土地利用の様子、主な公共施設や古くから残る建造物の場所と様子などを理解している。 2 市の様子は場所によって違いがあることを理解している。

7 指導と評価の計画（全9時間）

時	学習内容	習得させたい知識	評 価				
			関	思	技	知	評価規準と評価方法
1	尾道市の地形の様子を知る。	尾道市には、様々な場所があり、それぞれ様子が違う。	◎				・尾道市の地形に関心をもち、その様子を意欲的に調べている。 (ア1 発表・ワークシート)
2	尾道市の交通の様子を知る。				◎		・地図や写真などの資料を活用して、尾道市の交通の様子について必要な情報を読み取っている。 (ウ1 発表・ワークシート)
3	尾道市の建物の様子を知る。 尾道市の地形や交通、建物の様子の学習を踏まえ、学習課題をつくる。			○		◎	・尾道市の様子は、場所によって違いがあることを理解している。 (エ2 発表・ワークシート) ・尾道市の様子について、学習課題や予想、学習計画を考え、表現している。 (イ1 発表・ワークシート)
	学習課題 尾道市には、どのような場所があり、それぞれどのような様子なのでしょう。						
4	尾道駅の周りの様子について考える。	駅の周りは、交通が便利で店などの建物が多いため、多くの人が集まる。		◎	○		・人と交通や建物の様子を関連付けて考え、分かりやすく説明している。(イ2 関係図) ・地図や写真などの資料を活用して、駅周辺の様子について必要な情報を読み取っている。 (ウ1 関係図)
5	尾道市の工場のある場所の様子について考える。 (本時)	工場は、材料や生産物を運ぶために、交通の便利な場所につくられる。		◎			・工場の立地条件について、工場の仕事内容や場所等を関連付けて考え、分かりやすく説明している。 (イ2 関係図)
6	尾道市の北部と南部の様子について考える。	田畑などの土地利用は、地形を生かして行われる。		◎			・地形と土地利用を関連付けて考え、分かりやすく説明している。(イ2 関係図)
7	特色ある地域について考えたことを白地図にまとめる。				◎	○	・調べたことを地図記号等を用いて白地図にまとめている。(ウ2 白地図) ・特色ある地形や土地利用の様子を理解している。 (エ1 白地図)
8	白地図を見て、学習した場所とその様子について整理する。	市の様子は、地形的条件や社会的条件により、場所によって違いがある。	○	◎			・土地利用の様子を相互に比較して、市の様子は場所によって違いがあることについて考え、分かりやすく説明している。 (イ3 ワークシート) ・尾道市の特色やよさを考えようとしている。 (ア2 行動観察 発表)
9	公共施設や古くから残る建造物などを調べ、白地図にまとめる。					◎	・主な公共施設や古くから残る建造物の場所や様子を理解している。(エ1 白地図)

8 本時の展開

(1) 本時の目標

資料から工場のある場所の様子についての情報を読み取り，工場の立地条件について考える。

(2) 観点別評価規準

工場の立地条件について，工場の仕事内容や場所等を関連付けて考え，分かりやすく説明している。

(3) 学習の流れ（5 時間目／全 9 時間）

学習活動（・主な問い）	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て）	評価規準〔観点〕 （評価方法）
1 尾道市にある工場の位置を確かめる。 ・工場はどこにありますか。 2 工場の周りの様子について整理する。 ・工場の近くには何がありますか。 3 学習課題を確認し，学習の見通しをもたせる。	◇尾道市の地図から，工場がどこにあるかを確認させる。 ◇地図や写真を見て気付いた事象を付箋に書き出させ，整理させる。 ◆地図と写真から必要な情報を読み取る視点を提示する。	
なぜ，多くの工場は，海沿いや高速道路の近くにつくられているのだろうか。		
4 工場の仕事内容を知る。 ・工場では，何を作っているのでしょうか。 5 関係図にまとめる。 ・工場の場所と仕事内容の関係図に整理し，理由を考えてみよう。	◇学習課題について予想し，課題に対する見通しをもたせる。 ◇工場の種類（何を作っているか），原料，生産物を確認する。 ◇代表的な工場を選んで左のような関係図を作成し，工場の種類と工場の立地条件には，関係があることをつかませる。 ◇関係図から，工場の立地条件を考えさせる。 ◆自力解決後にペアトークを取り入れ，考えを交流させ，全員に考えをもたせる。	工場の立地条件について，工場の仕事内容や場所等を関連付けて考え，分かりやすく説明している。 〔思考・判断・表現〕 （関係図）

6 関係図を基に，全体で交流し，まとめる。 ・工場が建てられている場所は，どのようなことと関係があるのでしょうか。 ・二つの工場に当てはまる言葉でまとめてみよう。 7 まとめと振り返りを行う。 ○本時の学習を振り返り，学習課題に対するまとめを考える。 8 次時の学習内容を確認する。	◇根拠を明確にして自分の考えを述べるように指示する。 ◆参考になる友達の考えを関係図に書き込ませて，理由を整理する。 ◇二つの工場で共通する条件を整理させ，工場の立地条件をまとめる。 ◇今日の学習を振り返らせ，まとめを書かせる。 【まとめ】 工場は，材料や生産物を運ぶために，交通の便利な場所につくられる。 ◇尾道市の北部と南部の土地利用の様子について調べることを伝える。	
--	---	--